

【当院の対応について Ver.2】

1. 検 査

1) 聴覚検査

標準純音聴力検査は検査周波数を7音から5音に減らして実施しています。必要な場合は骨導検査も行っています。**標準語音聴力検査**も身体障害者手帳申請や補聴器の医療費控除を受けられる方のために診療情報提供署が必要な場合は語音聴力検査も音圧（検査音の強さのレベルを減らすなどしながら実施しています。5月にお知らせした防音キャップは、ドア開放と聴力検査室内のエアコン使用による検査結果への影響が大きいため、使用していません。

チンパノメトリ及び**誘発耳音響放射検査**はこれまで通り行っています。

2) 平衡機能検査

感染に注意しながら慎重に行いますが、嘔吐しそうな場合は中止します。

3) 内視鏡検査（ファイバーを用いた検査）

7月から内視鏡の自動洗浄・消毒器を設置しましたので、感染リスクをかなり軽減して検査の実施が可能になりました。ただし、施行中に咳やくしゃみが出ると、飛沫がかなり飛散しますので、中止する場合があります。

4) 超音波検査（エコー）

流行状況を勘案しながら、必要な場合は実施しますが、画像検査（CTやMRI）が可能であれば、検査装置のある病院に紹介するなどの対応をとっています。

2. 処 置

1) 耳鼻咽喉科的各種処置

（耳処置、鼻処置、耳管処置、喉頭鏡下喉頭処置、鼻出血止血処置等）

いずれも咳やくしゃみを起こすとウイルスを含む飛沫が飛散するおそれがありますので、治療のための必要度を考えて慎重に行います。

2) ジェット・ネブライザー（鼻用）

現在は安全対策を採った上で、慎重に行っております。

3) 超音波ネブライザー（のど用）

安全面を考慮して、現在は行っていません。

以下の一般的なことについて、ご協力をお願いします。

1. 体温測定：家を出る前に体温測定をお願いします
(体温が判らない場合は、受付にて非接触型体温計で測定させていただきます)
2. マスクの装着：咳の有無に関わらず、受診される方、付添いの方全員
(お持ちでない場合は受付にお伝え下さい、2枚1組100円で申し受けます)
3. 手指消毒の徹底
(玄関及び受付に消毒用アルコールスプレーが備えてあります)
4. 待合室の混雑緩和のため、本年3月末から、以下の対応を採らせていただいております。
 - a) 完全予約制の実施(是非電話での連絡をお願いします)
 - b) 椅子の配置変更と着座禁止部分の設置(座席間隔の確保)
 - c) 予約時刻まで時間がある場合や混雑している時はお車での待機をお願いします。
 - d) ほか、衛生面の配慮から、新聞・雑誌を撤去してありますが、治療や日常生活で気をつけていただきたいことなどについてのお知らせが置いてあります。ラミネーター処理が施してありますので、ご利用下さい。

5. 発熱、強いだるさ、息苦しさ、飲み込みにくさ、嗅覚・味覚障害を自覚されている方
ぜひ、院内に入る前に電話連絡をお願いします。
症状や程度に応じて、駐車場内に停車した自家用車内に留まったまま、窓を開けた状態での診察をさせていただくことがあります。
検査(PCR抗原検査)が必要と判断したら、厚生連滑川病院発熱外来や帰国者・接触者相談センターなどの検査可能な施設に紹介いたします。その際は、紹介先の施設だけを受診される様をお願いいたします。
また、検査結果が出るまでは当該の検査を受けられた施設の担当者の指示に従った行動を守っていただくようお願いします。検査結果の連絡があったら、検査実施機関の指示に必ず従って下さい。

一人一人の責任ある行動が感染拡大を最小限にし、

あなたの大切な方々の安全につながります。